

わかやま 県議会 だより

No.18

平成24年[2012]
11月10日発行(年4回発行)



わかばん



現在、飼育数9頭と日本一を誇る「パンダ」をモチーフにした、和歌山観光PRシンボルキャラクター「わかばん」!

9月定例会号

主な記事

2~3面 平成24年9月定例会の概要

4面

議会活動

県議会からのお知らせ

建設委員会



建設委員会としては、紀伊半島大水害からの本格的な復興はもちろん、高速自動車国道や府県間道路をはじめとする道路網の整備、大規模な災害発生に備えた河川の浸水対策、土砂災害対策等に県当局とともに取り組んでいきます。



建設委員会では、8月27日と28日の2日間、県内12カ所の調査を行いました。

今回、平成27年度の国体開催までの全線供用開始を目指して工事が進められている京奈和自動車道の打田インター、切目川ダム（写真上）、台風12号により大規模なすべりが発生した田辺市熊野地区及び国道311号の復旧状況、そして近畿自動車道紀勢線の延伸のための後呂地トンネル工事現場の進捗状況等について調査を行いました。

常任委員会

活動リポート!

6つの常任委員会のうち、
今回3つの委員会の活動を紹介します。

経済警察委員会では、8月28日と29日の2日間、県内7カ所の調査を行いました。

近畿大学生物理工学部・先進医学センターでは、最先端研究の概要を調査し、研究成果の実用化策などについて活発な意見交換を行いました。

日進化学（株）橋本工場では、最新鋭工場の概要

を調査し、今後の同地域での企業誘致の課題等について率直な意見交換を行いました。

世界遺産熊野本宮館、熊野川舟センターでは紀伊半島大水害による被害と復旧の状況を、熊野速玉大社では

被災状況と神木ナギの活用策について、それぞれ

調査を行いました。

捕鯨等に伴うトラブルや違法事案に即応するた

め設置された太地町臨時交番（写真右）では設

備・体制等の概要を、また、津波が短時間で到達

すると予想されている串本警察署では、代替指揮

所予定地で概要説明を受けるとともに、施設はも

農林水産委員会



農林水産委員会では、8月27日と28日の2日間、県内7カ所の調査を行いました。
県うめ研究所では栽培方法、新品種、うめジュース等加工品などについて、JA紀南・中芳養加工場では味付け梅干し、練り梅、うめジュースなどについて、JF勝浦では生マグロのせり売り（写真上）などについて、那智川源道橋付近では被災現場の復旧状況について、県水産試験場、県南部栽培漁業センターでは水産資源の高度利用技術、ブランド化への取組、種苗生産などについて、近畿大学水産研究所・大島実験場では養殖マグロの生け簀での飼育状況などについて調べを行いました。

各調査先では、関係者から概要説明を受けるとともに意見交換を行いました。

本委員会としては、今回の調査で得た貴重な情報をもとに本県の農林水産業の一層の発展に取り組んでいきます。



経済警察委員会



す。
今後もタイムリーかつ有意義な所管事務調査を行い、委員会活動の充実に努めていきます。



平成24年度和歌山県 一般会計補正予算などを可決

9月 定例会の概要
9月12日～9月28日の17日間

会期中の主な動き

特別委員会の開催

- 東南海・南海地震等対策特別委員会 (9/12)
- 半島振興・交通・産業振興対策特別委員会 (9/19)

条例案検討会の開催

- がん対策推進に係る条例案検討会 (9/12、26)
- 中小企業振興に係る条例案検討会 (9/28)

特別委員会の設置

- 決算特別委員会を設置し、委員を選任 (9/28)

一般質問議員 13人

9月19日(水)	9月20日(木)	9月21日(金)	9月24日(月)
花田 健吉	中村 裕一	谷口 和樹	森 礼子
藤本眞利子	角田 秀樹	前芝 雅嗣	浦口 高典
松坂 英樹	雑賀 光夫		高田 由一
新島 雄			吉井 和視

9月定例会の主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、下記のとおりです。(要約抜粋)



国道311号滝尻地区 復旧状況



国道311号滝尻地区
被災直後状況

は、下流から護岸復旧と土砂の掘削を進めており、平成25年度中の完成を目指す。

答 公共土木施設の本格的な復旧については、県復旧・復興アクションプログラムの中で平成24年度中に95%の箇所の完成を目指して、全力で取り組んでいる。伏菟野地区については、伐木及び仮排水路工が完了し、のり面工や掘削工に向けた工事用道路を施工している。滝尻地区は、富田川対岸に本復旧を兼ねた仮設道路を建設中で、10月初旬に一般通行が可能となる。熊野地区については、百間谷橋付近上流は国直轄砂防工中であるが、県工事について

防災・復興

紀伊半島大水害からの復旧

問 昨年の紀伊半島大水害による県の災害復旧工事の見通しはどうか。また、被害の大きかった田辺市伏菟野地区の地すべり、国道311号滝尻道路や熊野川の災害復旧状況はどうか。

答 お亡くなりになつた皆様と御遺族の皆様、被害に遭われた皆様に、改めて哀悼の意を表する。現在、本格復旧工事中であり、一部では、改良復旧という形で、より強靭な県土づくりを進めている。また、8月末に県防災会議を開催し、昨年の紀伊半島大水害の教訓などを踏まえ、災害対策本部体制の見直しなど、新たな取組や抜本的見直しを中心に行なった。今後とも大規模災害に備えるため、全力で災害対策に取り組む。

問 昨年の台風12号から1年が経過したが、この間の災害復旧・復興を総括し、今後、この経験を防災対策にどのように生かしていくのか。

答 平成8年以前の道路橋示方書に基づいて設計された長さ15メートル以上の橋では平成16年度から耐震化に取り組んでおり、平成23年度末現在、77%の進捗率である。県管理の国道、県道における橋や高架道路の長寿命化については、平成21年度から23年度で点検し、236橋で修繕を行つた。

港湾岸壁については、現在、適正な維持管理のための計画策定に取り組んでおり、本年度中に完了予定である。その後、それに基づき計画的に維持管理を実施していく。

福祉

県内の公共インフラ整備

問 災害時の緊急輸送道路上にある橋の耐震対策の進捗状況はどうか。また、県管理の橋、高架道路、港湾岸壁の長寿命化対策の進捗状況と今後の見込みはどうか。

答 平成8年以前の道路橋示方書に基づいて設計された長さ15メートル以上の橋では平成16年度から耐震化に取り組んでおり、平成23年度末現在、77%の進捗率である。県管理の国道、県道における橋や高架道路の長寿命化については、平成21年度から23年度で点検し、236橋で修繕を行つた。

問 南海トラフの巨大地震が発生すれば、本県では最大約8万人が死亡するケースもあると内閣府から発表された。直ちに官民挙げての防災対策をスタートさせなければならないが、中心的役割を担う市町村に對してどう支援をしていくのか。

答 避難路や津波避難タワー等の整備については、県パワーアップ補助金や国の緊急防災・減災事業により支援している。住宅の高台移転等についてはどうすればできるのか、県を挙げて検討しているところである。津波防災地域づくりに関する法律に基づく推進計画作成支援のため、6月に国、県、関係市町の連絡会議を設置したところであります。津波防災守る防災対策を引き続き市町村とともに取り組んでいく。



橋梁耐震化の施工例

里親のあり方

問 保護されなければならない子の制度から里親などによる家庭的環境での養育に変わろうとしているが、県の今後の方針性はどうか。

答 県民の皆様に御理解をいただき中で、登録里親数と里親委託率を増加させることが重要であり、全国自治体の成功事例も参考にしながら家庭的な環境に近い里親による養育を一層推進していく。

への決意

健康長寿日本一わかやま

問 和歌山県長期総合計画では、「健康長寿日本一をめざす」と強調されているが、健康寿命等の調査では全国で下位にある。「健康長寿日本一わかやま」実現への決意と意気込みはどうか。

答 平均寿命や健康寿命の延伸、介護を要する期間の短縮等が大きな課題であるが、現状は目標に遠い状況であり、強い意志を持つて頑張らねばならない。県民参加型の健康増進、がん対策、心の健康づくり、感染症対策、健康危機管理、難病対策等に今後さらに力を入れ、関係部局が一致団結して取り組んでいきたい。

議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果	項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	1件	平成24年度和歌山県一般会計補正予算	可決			北朝鮮による日本人拉致問題の一刻も早い解決を求める意見書	可決
条例案件(〃)	30件	和歌山県防災会議条例の一部を改正する条例 等	可決			戦没者等の遺族に対する処遇改善を求める意見書	
決算案件(〃)	2件	平成23年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	継続審査			気象事業の整備拡充を求める意見書	
人事案件(〃)	4件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めるについて 等	同意			自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書	
その他案件(〃)	4件	平成24年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	可決			中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書	
意見書・決議	13件	近畿自動車道紀勢線ミッティングリンクの早期解消及び4車線化の早期実現を求める意見書	可決	意見書・決議(つづき)		司法の場における発達障害者への適切な対応を求める意見書	
		我が国領土及び領海を守る体制整備を求める意見書				第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の東京招致を支援する決議	
		税制全体の抜本改革の確実な実施を求める意見書				「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる意見書 他1件	
		国土強靭化基本法の制定促進を求める意見書					

基金活用事業の補助金をめぐって不適正な使用があると指摘されているが、今回の反省点と、今後の事業のあり方をどう見直すのか。

森林環境の保全、森林と共生する文化の創造を目指して県民の理解と協力のもとに行われる非常により事業であるにもかかわらず、不適正な支出がなされたことは非常に残念である。担当課に調査を指示しており、調査の結果明らかになるであろう問題点を修正し、今後こういうことがないように事業を進めていきたい。

紀の国森づくり基金活用事業



国体開催と観光振興

観光

紀の国わかやま国体では、延べ12万泊を超える宿泊が見込まれており、訪れる方に「一足伸びて観光したい」と思ってもらえるような事前対策が必要である。特に選手、関係者への観光資源等の周知をどう考えているのか。

答 観戦前後

の県内観光、次回訪問の動機づけのため、事前に各都道府県の体育協会に観光パンフレットを発送し、選手・スタッフ等に配布を依頼するつもりである。また、旅行会社には県内観光を促進する宿泊プランづくりを働きかけるとともに、インターネット販売を中心とする旅行会社等と提携し、効果的な情報発信を行っていきたい。

鳥獣害対策と射撃場建設

教育

イノシシや猿は非常に賢くなり、自給自足用の作物まで被害を受けている。被害防止のため、ハンターが射撃訓練を行える射撃場について、県が主体性を持って整備を考えるべきではないか。

射撃場の建設については、地元市町村の応分の負担、市町村による住民同意の取りつけ、運営主体の存在の3条件を基本に考えているが、県の将来のことも考え、プラス面とマイナス面の両方について皆さんとよく議論して考えていただきたい。そんな材料を出しての問題は議論の対象だと思うので、いろいろな材料を出して議論していくべきだ。



イノシシによるミカンの被害

いじめ問題

いじめ問題は、先生が生徒と向き合い、心を通わせる学校をつくってこそ解決の道が開かれると考えるが、県教育委員会は現状をどう把握し、どう取り組むべきと考えているか。

平成23年度の公立学校のいじめ認知件数は、小学校20件、中学校39件、高校38件、特別支援学校0件の計97件である。内容は冷やかしから、悪口、仲間はずれ等が主で、近年ではパソコンや携帯電話での誹謗中傷も見られる。いじめは決して許されない行為であるという強い思いを持ち、どの子にも、どの学校でも起これ得ると十分認識し、日ごろから子どもの悩みや不安をしっかりと受け止め、いじめを許さない学校づくりに向けて努力していく。

情報公開

情報公開における 知る権利とコスト

今議会に提出された情報公開条例改正案で閲覧手数料を導入しようとしているが、知る権利とコストについて知事はどう考えているのか。

大量的の情報公開の請求があると、多くの県庁職員がその作業に当たらなくてはならない。不合理な要求を抑え、正当な要求に限るように自発的に判断していたのが望ましい姿である。県民の知る権利を侵したり逆行するような目的で県条例を改正するのではなく、むしろ知る権利を正当に行使することを助けるために提案

答 森浦湾くじらの海構想については、太地町が平成18年に発表した太地町くじらと自然公園のまちづくり構想を具体化するものとして、検討段階から県も参加した。検討段階から県も参加した森浦湾の海構想検討委員会が本年3月に策定したもので、大変有意義なものである。県としては、太地町と十分協議しながら構想の実現に向けて積極的かつ全面的に協力したい。

答 大量の情報公開の請求があると、多くの県庁職員がその作業に当たらなくてはならない。不合理な要求を抑え、正当な要求に限るように自発的に判断していたのが望ましい姿である。県民の知る権利を侵したり逆行するような目的で県条例を改正するのではなく、むしろ知る権利を正当に行使することを助けるために提案

太地町の森浦湾 くじらの海構想

まちづくり

洋式トイレの普及

現在、公共のトイレは和式が多いが、県の施設ばかりではなく、市町村やNEXCO西日本、國のものも含め、今後洋式トイレをふやしてほしい。

答 現在新たに建設中の秋葉山公園県民水泳場では、和式トイレ18%、洋式トイレ82%となっている。今後、他の施設についても、トイレの改修が必要になった際にも利用実態を踏まえ、洋式トイレの割合を検討する。また、市町村に対しても、小中学校のトイレの洋式化について、国の補助制度を活用しながら環境整備を推進するよう助言をしていく。

答 太地町が森浦湾でクジラやイルカを放し飼いにするくじら牧場の構想を発表したが、県は、財政面も含め、全面的にバックアップしてはどうか。

答 森浦湾くじらの海構想について、太地町が平成18年に発表した太地町くじらと自然公園のまちづくり構想を具体化するものとして、検討段階から県も参加した。検討段階から県も参加した森浦湾の海構想検討委員会が本年3月に策定したもので、大変有意義なものである。県としては、太地町と十分協議しながら構想の実現に向けて積極的かつ全面的に協力したい。

i Information

県議会からのお知らせ

テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送
(12月定例会の放送予定 12/3、10~13、19)

県議会手話だより 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送

ラジオ 和歌山放送(WBS)

県議会ダイジェスト 開会、質問、閉会日の22時から15~30分間放送(12月定例会の放送予定 12/3、10~13、19)

県議会ホームページ

和歌山県議会 | 和歌山県議会 | 検索

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

●県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。

●議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

傍聴してみませんか

●本会議は、申込みなしで傍聴できます。

●委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

平成24年12月定例会 会期日程(予定)

本会議 12月3日(月)

本会議(質問) 12月10日(月)~13日(木)

常任委員会 12月14日(金)・17日(月)

本会議 12月18日(火)・19日(水)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。

傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。

「点字版・テープ版」のご案内

本紙の点字版、テープ版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。

- 冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄附行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
- あいさつ状の禁止
- 議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- 中元や歳暮の贈答はしない
- お祝い・おくやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)



発行日/平成24年11月10日

編集・発行/和歌山県議会 ☎ 073-441-3560

〒640-8585(県専用郵便番号) 和歌山市小松原通1-1

Topics 議会活動を紹介

議員提案政策条例特集



県議会では、県政の課題を解決し、住みよい和歌山県をつくるため、様々な分野について、議員提案による政策条例の制定を進めています。今回、県内産業の原動力として本県の未来を担う中小企業を振興し、本県経済の持続的な発展と県民生活の向上を推進することを目指し、中小企業振興に係る条例の制定に取り組むこととなりました。

9月定例会の会派代表者会議において、全会派の賛成をもって中小企業振興に係る条例案検討会の設置を取り組むことを決定しました。

9月定例会の会派代表者会議において、全会派の賛成をもって中小企業振興に係る条例案検討会を決定し、9月28日に開催した第1回条例案検討会において、座長に尾崎要二委員、副座長に前芝雅嗣委員が選出されました。今後も、条例案検討会において検討を重ね、県議会9件目の政策条例制定に向けて取り組んでいきます。

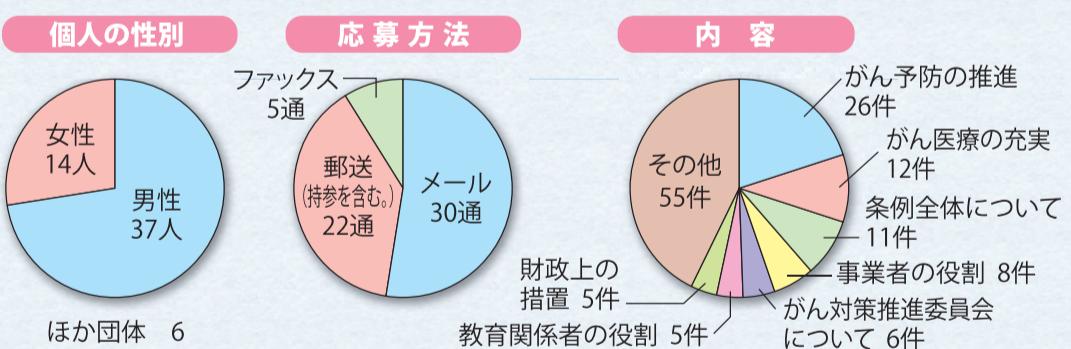
条例案検討会委員	
◎ 尾崎 要二	○ 前芝 雅嗣
下 口 平木 菲朗	上 口 新島 雅嗣
山 浦 花田 哲朗	浦 花田 民浩
大 輔 高典 健吉	高 谷 光夫
○ 座長 ○ 副座長	○ 副座長
多 田 純一	片 桐 章浩
	岸 本 服 部 廉 一

和歌山県 がん対策推進条例(案) 県民意見募集の結果が まとまりました

8月に実施した条例のあらましについての県民意見募集では、51人の個人の方、6団体から貴重な御意見・御提言をいただき、本当にありがとうございました。

9月12日、26日開催のがん対策推進に係る条例案検討会では、御意見・御提言の条例案への反映について、活発な意見交換や議論を行いました。現在、12月定例会での議員提案に向けて取り組んでいます。

いたいた御意見・御提言の要旨とお返事については、県議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



11月は「いい歯の月間」、11月8日は「いい歯の日」です。昨年12月定例会で議員提案条例として可決、今年4月1日から施行された「和歌山県の歯と口腔の健康づくり条例」の啓発用パンフレット(A4、4ページ版)が、いい歯の月間に合わせて、県の福祉保健部健康局健康推進課で作成されました。詳しくは、健康推進課まで。



和歌山県民の歯と 口腔の健康づくり条例の パンフレットができました